

お客様紹介

日本貨物鉄道株式会社 広島車両所 様

(ISO9001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino

日本貨物鉄道株式会社様は、全国規模で貨物鉄道輸送を手掛ける国内唯一の会社で、1日に運行される約400本の貨物列車の総走行距離は地球約5周分に相当するそうです。今回ご紹介の広島車両所様は、旧広島鉄道局広島工機部の蒸気機関車の単独工場として1943年に発足、被爆時には木造建物の損傷被害はあったものの、鉄骨建屋の倒壊は免れました。その後、国鉄民営化により現在の日本貨物鉄道 広島車両所となり、電気・ディーゼル機関車や貨車の検修を行われています。

広島車両所様から約15キロの地点にある山陽本線岡山側の瀬野一八本松駅間、通称セノハチと呼ばれる区間は、20%以上の勾配が10km以上続く国内屈指の急勾配となっており、そのままでは坂を上れない貨物列車を後ろから押す専用の補助電気機関車が使用されます。広島車両所で検修した電気機関車は、セノハチや主に西日本で活躍しています。

広島車両所様では2001年にISO9001を認証取得、2019年にインターテックに審査機関を変更されました。47号でご紹介の



D52形蒸気機関車（愛称デゴニ）

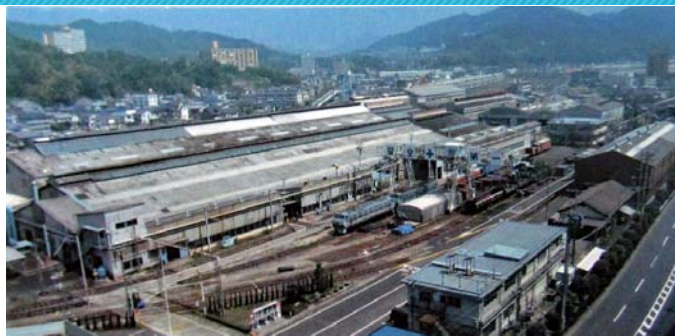
吹田貨物ターミナル駅様ではISO14001を認証取得されています。

前回の再認証審査では、優れた点として、作業要領書・マニュアルが、組織の知識の

ベースとした車両整備プロセスとなっていること、また所長によるリーダーシップで組織の方向付けがしっかりとされ



セノハチで活躍したEF67形式直流電気機関車



広島車両所全景（広島市東区）



貨物フェスティバル開催風景

ており、安定したメンテナンス品質の確保とともに、社内での品質意識の向上にも、ISO9001を活用した取組みが徹底されていることがあげられました。労働災害及びヒューマンエラーの撲滅に向けて、車両所全体の「安全感度の向上、気付き力の醸成」を目指し、正しい作業の実践と定着、変化点の確実な管理、集合教育・作業帯同などの実施にて、社員が『安全』に目を向ける機会を増やす取組みや労働災害速報による情報の共有化などが積極的に進められており、その取組みに対して社内表彰も受けられています。

日本貨物鉄道株式会社様は、全国に広がる鉄道ネットワークを活かして、私たちの暮らしを支えるさまざまなモノを運ばれており、鉄道貨物は優れた環境特性を有する輸送モードとして、特に中長距離輸送では、より一層その特性を発揮しています。近年、深刻化するトラックドライバー不足問題を背景に、大量輸送を得意とする鉄道貨物輸送へのモダリティシフトが加速しており、複数企業が共同でご利用になるケースや、「オーダーメイド列車」の増発など、新しい動きが活発化しています。

広島車両所様は、品質マネジメントシステムを活用しながら品質のよい車両の提供により鉄道貨物輸送を支えるべく、Challenge and Change (挑戦、そして変革)を合言葉に縁の下の力持ちとして、日々鉄道車両メンテナンス業務を行われています。また、鉄道貨物輸送に親んでもらおうと、例年10月に貨物フェスティバルを開催して広島車両所を一般公開されており、毎回家族連れや鉄道ファンで賑わっているそうです。コロナ禍で中止が続いていますので、次回開催が待たれます。